

組織としての公文書番号を付番していない場合、空欄

令和 年 第 月 号 日

文化庁長官 殿

代表者氏名を記載してください。
(代表者印は不要になりました。)

団体名 ○○市
住所 ○○県○○市○○町3-2-1
代表者職名 市長
代表者氏名 ○○ ○○

令和3年度 文化資源活用事業費補助金（文化財多言語解説整備事業）交付要望書

令和3年度 文化資源活用事業費補助金（文化財多言語解説整備事業）について、補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり要望します。

事業の名称	○○文化財 アプリコンテンツ整備事業	
補助金の交付要望額	(総補助事業経費 補助率見込み	6,570,000 円 9,000,000 円) 73 %
補助事業の着手及び完了の予定期日	着手 令和3年 6月 1日 完了 令和4年 3月 31日	← 交付決定日以降

収支予算書の交付要望額と同額。千円未満の端数は申請できませんので、自己負担額等で負担してください。また、金額は税込み額にしてください。

(ふりがな)	
担当者氏名	実務を担当(書類作成)している方の氏名を記載いただき、平日の日中に連絡のとれる電話番号も記載してください。
担当者所属機関・部署名	
連絡先 (TEL)	
" (FAX)	
" (E-MAIL)	
書類等の郵送先	
その他 (日中連絡先)	

<事業計画書>

事業の名称		〇〇文化財 アプリコンテンツ整備事業														
整備事業の概要																
<p>●●市には、●●をはじめとして貴重な文化財が集積している。市の●●エリアの観光ルートとして、下記に掲げる文化財を周遊するコースを推奨しているところである。</p> <p>このたび、外国人観光客等のさらなる誘客を目指し、●●エリアの文化財の魅力を伝えるコンテンツを作成する。具体的には、史跡●●城跡から、重要文化的景観●●の農村景観、●●遺跡などを対象として、日本語とともに英語で説明するアプリを作成する。なお、●●城跡については、VR技術を用いて、当時の建造物の様子が備え付けGoogleで見れるコンテンツを作成する。併せて、●●の町並みについては、AR技術を用いて、当時の農作業等の様子がタブレット等から見れるようなコンテンツを作成する。</p>																
関連するほかの事業概要（国際観光旅客税充当事業）																
事業名	地域観光資源の多言語解説整備支援事業	年度	令和2年度	概要												
事業名	年度	令和3年度	概要												
登録DMOの参加状況（該当ある場合に記載）																
登録DMOの名称	〇〇団体										備考					
事業への関わり状況	〇〇検討委員会に参画して助言いただくとともに、本コンテンツのプロモーションを行う予定。															
基礎データ																
対象文化財の外国人観光客数	現状値	R2	20,000人													
基礎データの把握手法	各々の文化財の入り口において平日、土、日の各1日の入込外国人観光客数を四半期ごとに調査会社に依頼して把握した数字から年間の入込外国人観光客数を推計して算出する。															
具体的な指標及び目標値①（必須）																
整備した媒体の利用数（アプリ）	現状値	R2	—	R3	500	R4	5000	R5	7000	R6	8500	目標値	R7	10000		
現状値及び目標値の把握手法	アプリに設定しているカウント機能により、英語を利用した数をカウントする。															
具体的な指標及び目標値①（必須）																
整備した媒体の利用数（VR）	現状値	R2	—	R3	100	R4	1000	R5	1500	R6	1750	目標値	R7	2000		
現状値及び目標値の把握手法	ガイドンスセンターに設置するVR〇〇の対応Googleを設置した外国人観光客数をガイドンスセンター職員がカウントする。															
具体的な指標及び目標値①（必須）																
整備した媒体の利用数（AR）	現状値	R2	—	R3	100	R4	1000	R5	1500	R6	1750	目標値	R7	2000		
現状値及び目標値の把握手法	案内所で貸し出したタブレット数を案内所職員がカウントする。															
具体的な指標及び目標値②（必須）																
整備した媒体による文化財の理解度（アプリ）	現状値	R2	—	R3	70%	R4	75%	R5	80%	R6	85%	目標値	R7	90%		
現状値及び目標値の把握手法	アプリに「解説を読んで内容が理解できたか（はい、いいえ）」のアンケートを設定し、英語機能のアンケートの有効回答（はい、いいえともにチェック無しを除く。）のうち、「はい」と答えた割合。															
具体的な指標及び目標値②（必須）																
整備した媒体による文化財の理解度（VR）	現状値	R2	—	R3	70%	R4	75%	R5	80%	R6	85%	目標値	R7	90%		
現状値及び目標値の把握手法	ガイドンスセンターに設置するVR〇〇を使用した外国人観光客に対し、ガイドンスセンター職員が多言語対応のタブレットを使用し、「解説を読んで内容が理解できたか（はい、いいえ）」のアンケートを実施し、「はい」と答えた外国人観光客の割合を算出する。															

具体的な指標及び目標値②（必須）														
整備した媒体による文化財の理解度（AR）	現状値	R2	—	R3	70%	R4	75%	R5	80%	R6	85%	目標値	R7	90%
現状値及び目標値の把握手法	案内所で貸し出すタブレットに「解説を読んで内容が理解できたか(はい、いいえ)」のアンケートを設定し、外国人観光客に貸し出したタブレットアンケートの有効回答(はい、いいえともにチェック無しを除く。)のうち、「はい」と答えた割合。													
具体的な指標及び目標値③（任意）														
他人への紹介希望度	現状値	R2	—	R3	70%	R4	75%	R5	80%	R6	85%	目標値	R7	90%
現状値及び目標値の把握手法	アプリ及びタブレットに「鑑賞した文化財を自分の家族・友人・知人等にも勧めたいと思うか(はい、いいえ)」のアンケートを設定し、英語を選択又は外国人観光客のタブレットアンケートの有効回答(はい、いいえともにチェック無しを除く。)のうち、「はい」と答えた割合。													
具体的な指標及び目標値④（任意）														
地域の関連場所の見学希望度	現状値	R2	—	R3	70%	R4	75%	R5	80%	R6	85%	目標値	R7	90%
現状値及び目標値の把握手法	アプリ及びタブレットに「この解説を聞いて、地域の関連の場所に行きたいと思ったか(はい、いいえ)」のアンケートを設定し、英語を選択又は外国人観光客のタブレットアンケートの有効回答(はい、いいえともにチェック無しを除く。)のうち、「はい」と答えた割合。													
補助率調整 見込み														
①対象文化財数	文化財数	4つ	→	加算見込み	10	⑥推奨人材の監修		状況	あり	→	加算見込み	0		
②事業規模	事業費	900万	→	加算見込み	0	⑦登録DMO		状況	あり	→	加算見込み	10		
③補助事業者の財政規模	財政力指数	0.3	→	加算見込み	10	⑧先端技術を利用した解説板に加え、複数の技術整備		状況	なし	→	加算見込み	0		
④他の国際観光旅客税事業との連携(※)	状況	あり	→	加算見込み	10	⑨言語数		状況	2つ	→	加算見込み	0		
⑤観光拠点認定市町村	状況	なし	→	加算見込み	0	調整見込み分 合計				→	加算見込み	40		
④'連携する他の国際観光旅客税事業名		LH促進事業		文化庁以外の事業でも問題ありません。										

※ スペースが足りない場合は、行の幅を変更したり、ページを追加しても差し支えありません。

<収支予算書>

区分	金額 (予定を含む。)	内訳	備考
収入の部	本事業以外の 支援金・助成金	0	0
	その他収入	0	交付要望額は千円未満の端数が出ないようにしてください。端数が出る場合は自己負担額に入れてください。この値は1枚目の、補助金の交付要望額と同じになります。
	小計 (A)	0	
	自己負担金 (B)	2,430,000	
	本事業による補助金の 交付要望額 (C)	6,570,000	同額になるようにしてください。
①収入合計 (A) + (B) + (C)	9,000,000	0	

区分	総事業費	交付要望額	左記のうち自己負担額等	
支出の部	総事業費	9,000,000	6,570,000	2,430,000
	事業経費	9,000,000	6,570,000	2,430,000
	コンテンツ作成経費	5,000,000	3,650,000	〇〇市予算 1,350,000
	機器整備費	1,500,000	1,095,000	〇〇市予算 405,000
	英語解説文制作経費	1,500,000	1,095,000	〇〇市予算 405,000
	仏語解説文制作経費	1,000,000	730,000	〇〇市予算 270,000
	税込み額で記載してください。			

<支出内訳明細>

事業名称	経費内訳	総事業費	交付要望額	自己負担額等
VR等を利用したアプリケーションコンテンツ作成経費	【委託費】 制作委託 一式 5,000,000円(見積書添付)	5,000,000	3,650,000	1,350,000
機器整備費	【需用費】 タブレット @50,000円×30台=1,500,000円	1,500,000	1,095,000	405,000
解説文制作経費(英語)	【委託費】 制作委託 一式 1,500,000円(見積書添付)	1,500,000	1,095,000	405,000
解説文制作経費(仏語)	【委託費】 制作委託 一式 1,000,000円(見積書添付)	1,000,000	730,000	270,000
合 計		9,000,000	6,570,000	2,430,000

実施体制の概要

(ふりがな) 名称	○○○○	(ふりがな) 代表者職名・氏名	しちょう ○○○ ○○○
	○○○○協議会		市長 ○○ ○○
所在地	〒000-0000 ○○県○○市○○町3-2-1	電話番号	*****-*****-*****
		FAX番号	*****-*****-*****
構成員		構成団体	
○○ ○○(○○行事保存会会長) ○○ ○○(○○市観光協会会長) ○○ ○○(○○市教育委員会○○課長) ○○ ○○(○○市○○課長)		○○保存会 ○○市観光協会 ○○市	
組織図	○○市教育委員会○○課や○○市○○課、市指定有形文化財(建造物)の保存会、○○大学の○○教授(○○学部○○学科教授(専門分野:都市計画))、観光協会会長及び地域住民代表として▲▲自治会会長等で構成する策定委員会を設置し、……………。		
<pre> graph TD A[委員長 ○○ ○○(○○大学教授)] --- B[副委員長 ▲▲ ▲▲(○○保存会会長)] A --- C[委員] A --- D[委員] A --- E[委員] </pre>			

※ 委員会等の設置規則を併せて提出すること。

※ その他、本事業に協力することが可能な地域住民等による団体(例:自治会、町内会、公民館、NPO、文化財愛護団体等)を把握していれば、リストを提出すること(様式自由)。

見 積 書

〇〇市 殿

観光アプリコンテンツ委託費について、下記のとおりお見積もりします。

〇年〇月〇日

(株)〇〇〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇 印

金 7,500,000 円

事項	金額	備考
企画経費	400,000	
取材調査経費	1,000,000	
監修経費	100,000	
CGデータ作成費用	3,000,000	
音声データ作成費用	500,000	
映像データ作成費用	2,500,000	
消費税(8%)	74,841	
小計	7,574,841	
値引き	74,841	
合計	7,500,000	

- ※ 人件費については、内訳を記入してください。
- ※ 単価等は「各費目における単価上限、補助対象外経費等」によるものとしてください。
- ※ 使用料、借料、再委託費、消耗品費等については、内訳明細を添付してください。
- ※ 発注予定金額が10万円（税込）以上の場合、見積書を徴すること。
- ※ 発注予定金額が100万円（税込）以上の場合、複数者から見積書を徴してください。複数者から見積書を徴することができない場合は、理由書（任意様式）を添付してください。